

海域の概要

本湾は、岩手県中部に存在する湾で、湾奥には大槌漁港が存在します。湾内には、「ひょっこりひょうたん島」のモデルとなった蓬莱島があり、釣り人のメッカとなっています。



Specification

諸元

湾口幅：4.1 km

面積：20.2 km²

湾内最大水深：7.7 m

湾口最大水深：7.7 m

閉鎖度指標：1.10

備考：環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

岩手県釜石市御箱崎と上閉伊郡大槌町野島鮫鼻を結ぶ線、同島南端から236度に引いた線及び陸岸により囲まれた海域。

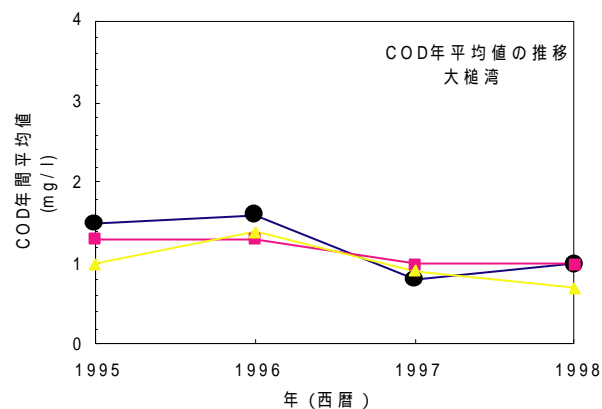


環境

大槌湾のある中部三陸沿岸沖合では、沿岸沿いに南下する津軽暖流、更に沖を南下する親潮を交錯しています。潮汐は、春秋の大潮を除いてやや顕著な日潮不等となっています。

水質は、比較的良好で、COD年平均値では、1～2 mg/lの範囲にあり、近年は1 mg/l前後となっています。

底質は、砂質または泥質の砂となっています。



自然

大槌湾は、湾入が深く、水深が深い、典型的なリアス式海岸で、陸中海岸国立公園の一部です。

湾口部の岩礁域には、ワカメ、コンブ、ホンダワラ類を主体とする藻場が分布しています。

大槌湾に面した根浜海岸は南北2 kmの白い砂浜で、夏には住民の海水浴場として利用されています。



根浜海岸

文化歴史

江戸時代の大槌は豊かな海の資源に恵まれ、大いに繁栄しました。寛永年間に入り、ロシアが南下政策をとりはじめると海岸警備が強化され、代官所の役割もいっそう重要となりました。その後、1955年5月に陸中海岸国立公園に指定され、1960～61年にはチリ地震津波、台風18号による災害を受けました。

1973年には、臨海におけるフィールド研究とそれを実証するための実験・分析的研究を行うことを目的として東京大学の大槌臨海研究センターが造られました。また、1987年にB&G海洋センターが設立されました。

1996年には三陸・海の博覧会・協賛事業として「おおつち海洋性動物展」が開かれました。

産業

大槌町は風光明媚な陸中海岸国立公園のほぼ中央に位置し、沖合に親潮と黒潮が交わる三陸漁場を有しております。町の特産品としては、ロールサーモン、わさび漬け、生ワカメがあり、最近ではサケ・ワカメの養殖事業が盛んに行われています。

1997年には、天皇・皇后両陛下のご臨席のもと、大槌漁港において第17回全国豊かな海づくり大会が開催され、つくり育てる漁業の一層の推進が図られています。



特産品の生わかめ